

新市場対応を支える物流体制の革新（肥料流通合理化対策）

【令和2年度第3次補正予算額 34,160百万円の内数】

<対策のポイント>

トラック運送業の環境変化に伴い、運賃上昇が加速する可能性を踏まえ、肥料価格への転嫁による農業所得の減少等に繋がらないよう、**肥料流通の合理化に向けた効果的な対策（肥料一貫パレチゼーション）**を行うモデル事業者を支援します。

<事業目標>

肥料一貫パレチゼーションモデルにおける荷待ち時間、荷役・肥料管理に係る作業時間、輸送コストの30%以上削減 [令和3年度まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 肥料一貫パレチゼーション※1に関する検討の実施

- 肥料業界関係者で構成する協議会による**肥料一貫パレチゼーションシステムの構築に向けた検討会の実施**を支援します。

2. 追跡型パレットの導入

- **統一規格の追跡型パレットの導入**を支援します。

3. 肥料一貫パレチゼーションの確立に必要な管理システムの開発・導入

- **RFID※2等によるパレット回収・管理や商品管理の省力化等、肥料一貫パレチゼーションの確立に必要な管理システムの開発・実証**を支援します。

4. 肥料一貫パレチゼーションの確立に必要な調査の実施

- **追跡型パレットや管理システム導入の効果検証に必要な調査**を支援します。

※1 肥料一貫パレチゼーション：肥料を製造地から産地まで、同一のパレットに乗せたまま輸送・保管すること。

※2 RFID：Radio Frequency Identifierの略。ID情報を埋め込んだタグから、電波などを用いた無線通信で情報をやりとりするもの。

<事業の流れ>

